

よしもと流 漫才講座

【キーワード】
青少年育成公民館等の取組事例集
019

お笑いを通して、相手に伝わる話し方、コミュニケーションの取り方などを学ぶことをねらいとして中学・高校生を対象とした講座を実施しました。よしもと広島県住みます芸人の松浜心さんを講師にお招きし、はじめにネタ作りを学び、習ったことを生かしてコンビを作り、「KUMA-1グランプリ」で発表しました。参加者からは「日常で起きたことをネタにできて楽しかった。」「人前で話して、笑ってもらうことの難しさがわかった。」など人前で話す力や聞く人に伝える話し方を身に付けることができました。

実施日：平成29年7月25日(火)・8月10日(木)

参加者：中学生14名、観客約50名



つどう



まなぶ

若者が興味を持ちやすい「お笑い」に焦点をあて、中学・高校生を対象とした講座を計画しました。また、「KUMA-1グランプリ」と題して参加意欲を高め、夏休みを利用して中学・高校生が参加しやすいようにしました。

よしもと広島県住みます芸人の浜松心さんを講師に招き、フリ・ボケ・ツッコミ・オチの付け方などを分かりやすく教えていただきました。相手を楽しませるためにはどうすればいいか、コンビを作って話し合い、練習を重ね、本番では身振りも加えて堂々と漫才をすることができました。

むすぶ

できあがった漫才を「KUMA-1グランプリ」で友達や家族に披露しました。発表会では、多くの方に見に来ていただき、参加者は、人前で話すことに自信をもつことができました。来年度も中学・高校生を対象として実施し、「お笑い」を通して若者の公民館事業への参加の輪を広げたいと思います。